

【参考資料】

米国ハートフォード 「世界で最も倫理的な企業」に選出される

グローバル・ガバナンス、企業倫理、コンプライアンスなどの分野で高評価

米国の大手保険および金融サービス会社であるザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービスズ・グループ・インク（コネチカット州ハートフォード、以下「ハートフォード」）は6月4日、グローバル・ガバナンス、企業倫理などの調査や広報・普及活動を行っているエシスフィア・インスティテュート（Ethisphere Institute）が選ぶ「世界で最も倫理的な企業（World's Most Ethical Companies）」の1社（金融サービス企業部門）に選ばれたと発表しました。6月3日には同機関が発行する雑誌「Ethisphere Magazine」とフォーブス誌の共催によるフォーラム「倫理的なリーダーシップの会（Ethical Leadership Forum）」がニューヨークで開催され、授賞式が行われました。

ハートフォードのトム・マーラ社長兼最高業務責任者（COO）は、「ハートフォードは設立以来約200年にわたって信頼の獲得と倫理の確立に取り組み、リーダーシップを発揮してきました。このたび同インスティテュートに高い評価をいただいたことを大変光栄に思います」と述べています。

「世界で最も倫理的な企業」は、弁護士や大学教授等の有識者により開発された厳正な評価プロセスに則り、企業倫理、訴訟や規制への対応、イノベーションや持続可能なビジネス慣行への投資がされているか、社会の一員としての企業活動を行っているか、業界においてリーダーシップを発揮しているか、などの幅広い評価軸において評価され、今回、6大陸、1万社以上もの企業から、業界別に33部門、計93社が選出（そのうち日本企業では花王、本田技研工業が選出）されました。

ハートフォードでは、過去数年にわたり、倫理・コンプライアンス・プログラムの強化に横断的かつ体系的に取り組み、世界の31,000人の社員に導入してきました。また、当プログラムのもと、倫理・コンプライアンスの水準を高めるとともに、倫理上の課題を事前に特定し、回避できるよう各種方針・マニュアル等の確立を行ってきました。リスクに基づく包括的なプログラムにより、各ビジネス分野が直面している法的・規制面でのリスクを評価し、理解することが可能になっています。ハートフォードは今後もお客様に最良のサービスを提供できるよう努めてまいります。

フォーチュン100社の1社であるザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービスズ・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所取引コード：HIG、以下「ハートフォード」）は、米国で最も由緒ある大手保険および金融サービス会社の1つであり、ミューチュアル・ファンドを含む投資金融商品をはじめ、各種生命保険、団体年金、団体生命保険、自動車保険、住宅保険、法人向け損害保険などを提供しています。2007年における収入は約259億ドルに達しています。ハートフォードは、日本、ブラジル、英国で国際事業を展開しています。ハートフォードに関する詳細な情報についてはウェブサイト（www.thehartford.com）をご覧ください。ハートフォード生命保険株式会社は、ハートフォードの日本法人です。

以上